

社会資本総合整備計画
寒川駅周辺地区都市再生整備計画

【平成 21～25 年度】

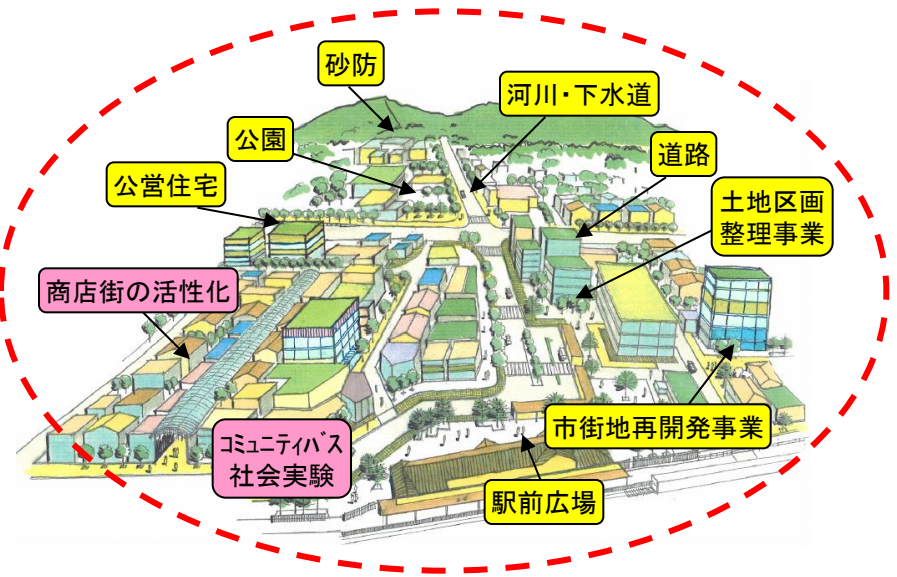
寒川町都市再生整備計画事業
事後評価委員会

平成 25 年 11 月 5 日

神奈川県 寒川町

1-1 社会資本整備総合交付金とは

- 国は地方公共団体が行う公共事業について、これまで個別補助金でそれぞれを実施してきました既存事業を見直し、平成22年度に『社会資本整備総合交付金』を創設しました。



事業一体での交付金

- 基幹となる事業（基幹事業）の実施のほか、これと合わせて関連する公共事業や基幹事業の効果を一層高めるためのソフト事業などに支援することができ、地域の課題に合わせた一体的な社会資本整備が可能となりました。

1-2 社会資本整備総合交付金の特徴

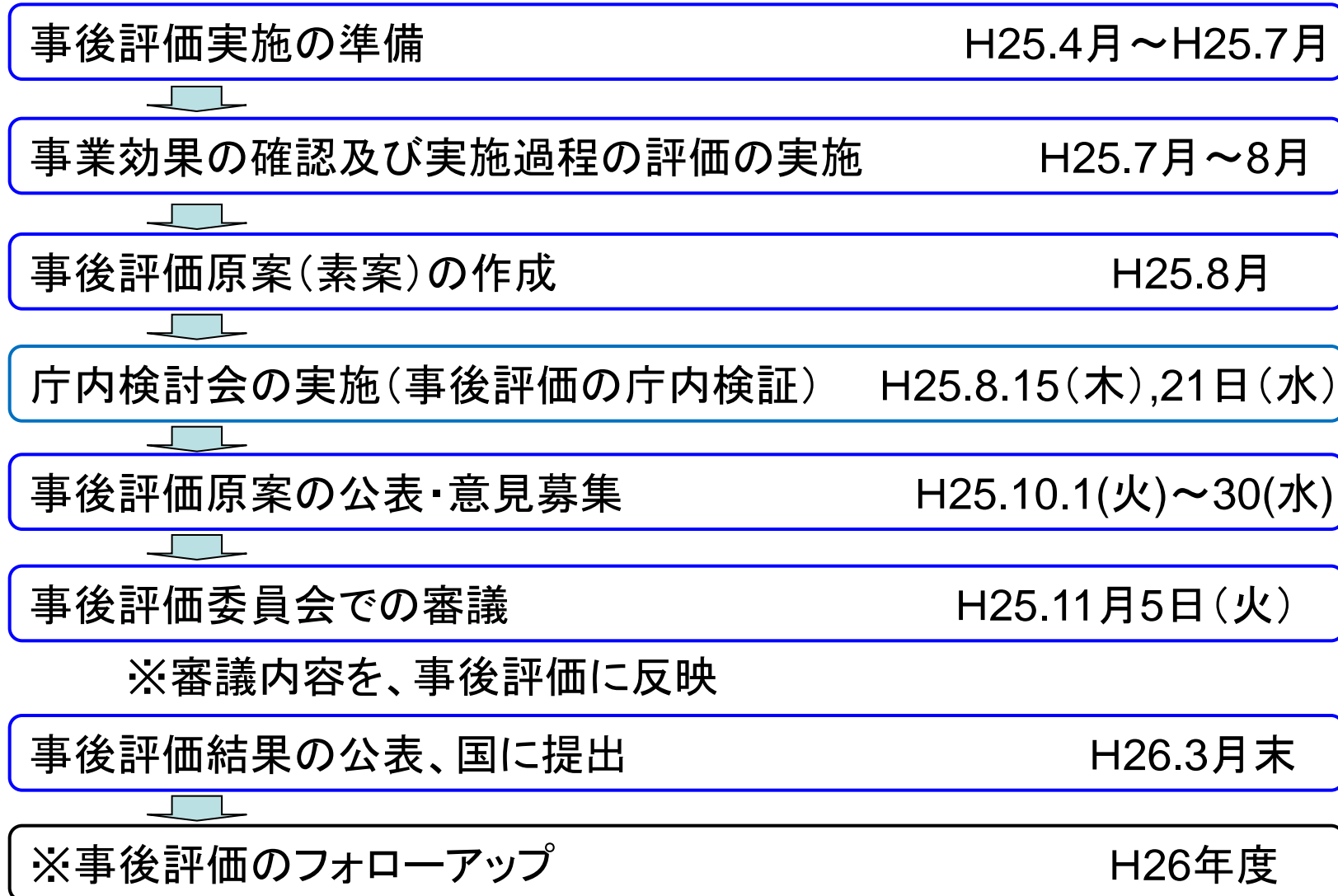
- 事前に計画書を作成し、各種事業を一つのパッケージとして交付金を受ける
- 事業の期間は早期に事業効果が見込める3～5年で完了する
- 事業終了年度に事業の効果を公表することが必須



事後評価の実施

※ 事後評価とは、事業が完了した時点で、計画書に記載した目標の実現状況を客観的に診断し、成否の要因を分析することです。また、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、住民に分かりやすく説明(公表)することを目的とします。

1-3 事後評価の流れ



まちづくりの目標の設定

【まちづくりの課題】

○寒川駅周辺地区は、JR 相模線駅施設等の近代化や市街地整備の遅れ等から、中心市街地が形成されず、自然発生的に集積された住宅や商店が混在している。また、町の玄関口としての魅力に欠け、多くの購買力が町外に流出してしまっている。

○こうした状況を背景に、その課題の解決に向け本地区では土地区画整理事業を進めてきたが、駅前広場の整備をはじめ、土地区画整理事業を早期に完了させるとともに、商業的施設の立地を促し、また、魅力ある駅周辺地区とするために、公園や街路樹等のうるおいのある都市空間整備や歩行者動線の整備等により、すべての人に魅力のある中心市街地としての整備が必要である。

【目標】 安全・快適で魅力あふれる中心市街地の再生

[整備方針1] (安全に暮らせるまちづくり)

子どもからお年寄りまですべての居住者、利用者が安全に、かつ、安心して生活できる歩行空間の確保や整然としたまちなみ形成など、住環境ならびに公共施設のバリアフリー整備等を行う。また、災害や防犯に強いまちづくりを推進する。

[整備方針2] (快適にすごせるまちづくり)

都市活動の活性化を図るため、鉄道、バス等の交通結節機能を高め、どこからでも気軽に立ち寄ることのできる効率的で利便性に優れた交通基盤の整備を行う。

身近な自然とのふれあい空間・コミュニティの場を創出し、快適性の向上を図る。

[整備方針3] (魅力を楽しめるまちづくり)

町の顔として、商業基盤や観光等情報拠点としての形成を図り、活力ある交流の場を整備する。

②成果の評価

指標の達成状況

まちづくりの目標を表現する指標を、具体的な数値目標で整備計画に記載し、その目標を定量化した指標を計測することで、事後評価を行っていきます。

【数値目標の達成状況】

指標	単位	従前値	目標値	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	
指標 1	区画整理区域内新築件数	件	102	182	171	△	なし
指標 2	公園充足度	%	60	87	89	○	—
指標 3	区画整理区域内商業床面積	m ²	9,600	13,200	12,576	△	なし
指標 4	歩行支援施設の整備率	%	71	100	100	○	—

従前値は平成 20 年 11 月時点のものです。

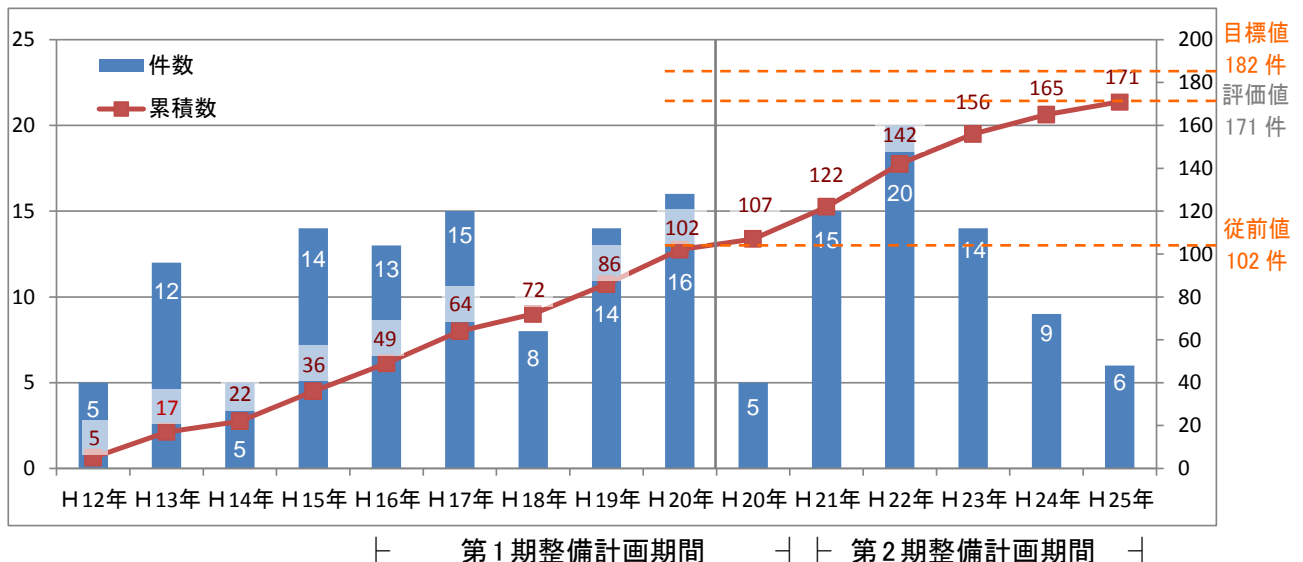
【その他指標】は、当初設定した数値目標以外の指標です。

指標	単位	従前値	目標値	評価値
その他指標 1	コミュニティバス寒川駅バス停利用者数（1日平均）	人/日 (H20)	—	219
その他指標 2	寒川駅前公園でのイベント開催数	回/年 (H23)	—	17

（1）指標 1：区画整理区域内新築件数 【従前値：102 件→目標値：182 件】

土地区画整理区域内における建築行為の届け出件数を集計しました。

【新築件数の推移】



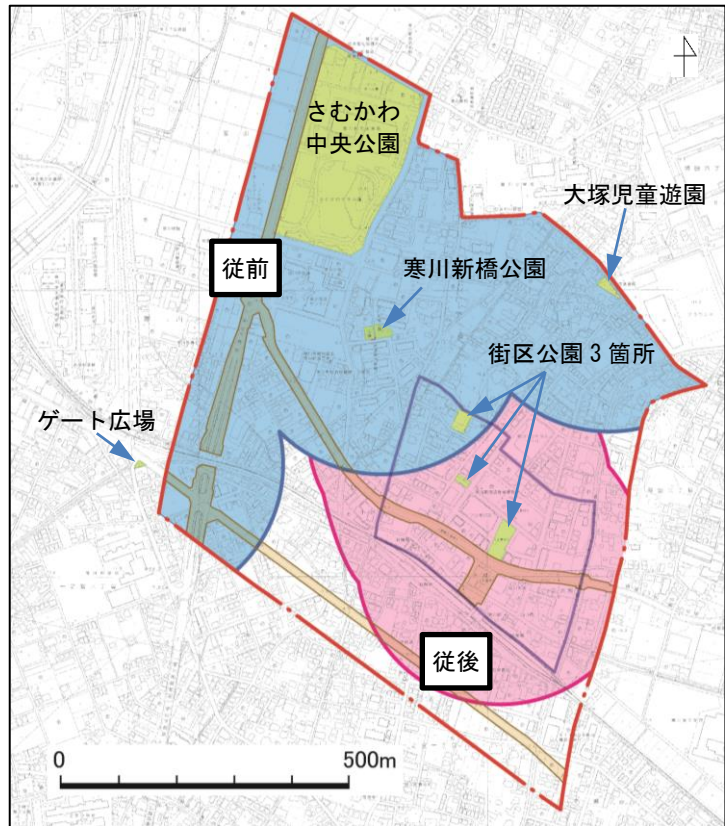
(2) 指標2：公園充足度 【従前値：60%→目標値：87%】

公園まで250mで行ける範囲の割合を算出しました。

【公園充足度】

	公園まで250m の区域面積	充足度
従前	約42ha	60%
従後	約20ha	29%
合計	約62ha	89%

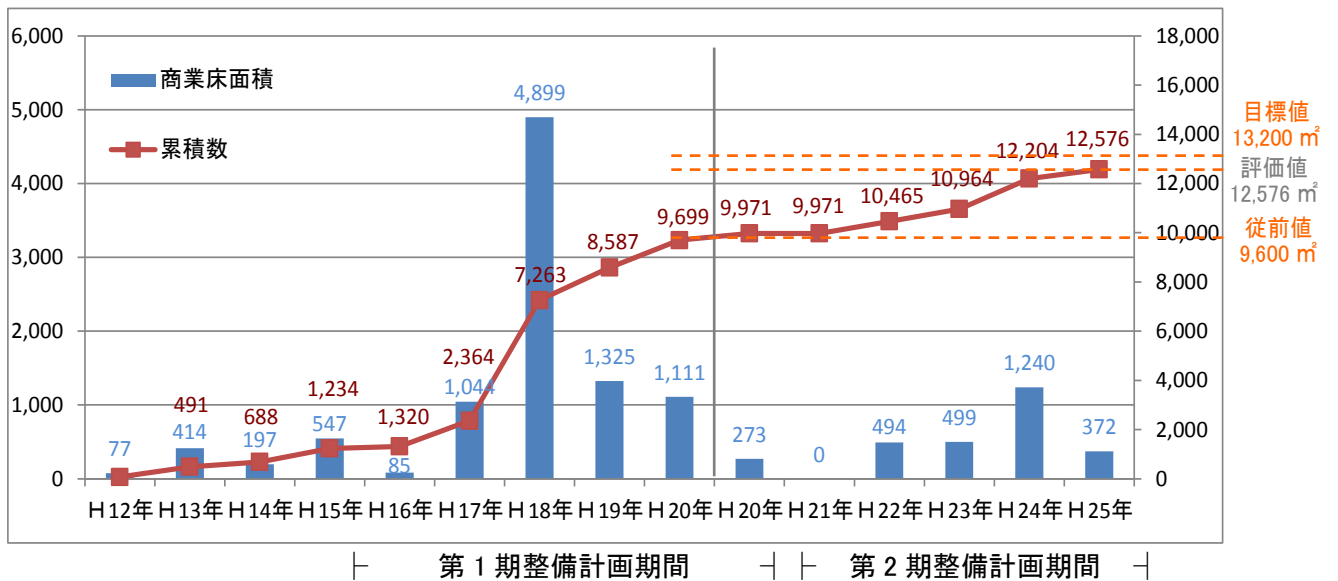
※街区公園3箇所を整備しました。



(3) 指標3：区画整理区域内商業床面積 【従前値：9,600㎡→目標値：13,200㎡】

土地区画整理区域内における建築行為の届け出件数から商業系の床面積を抽出しました。

【商業施設の床面積の推移】

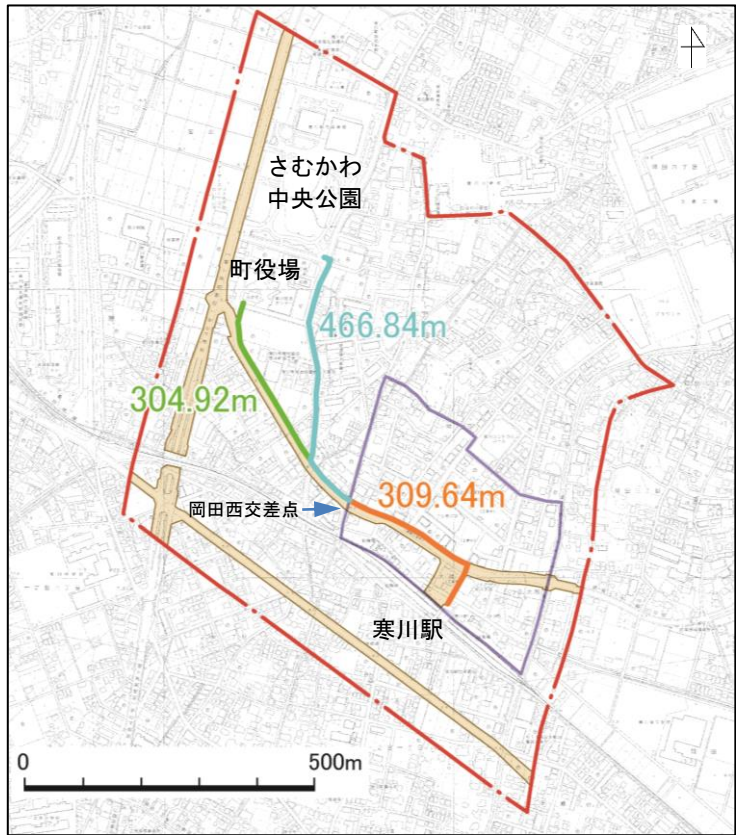


(4) 指標4：歩行支援施設の整備率 【従前値：71%→目標値：100%】

寒川駅から役場、図書館、中央公園に行く歩道の整備率を算出しました。

【歩行支援施設の整備率】

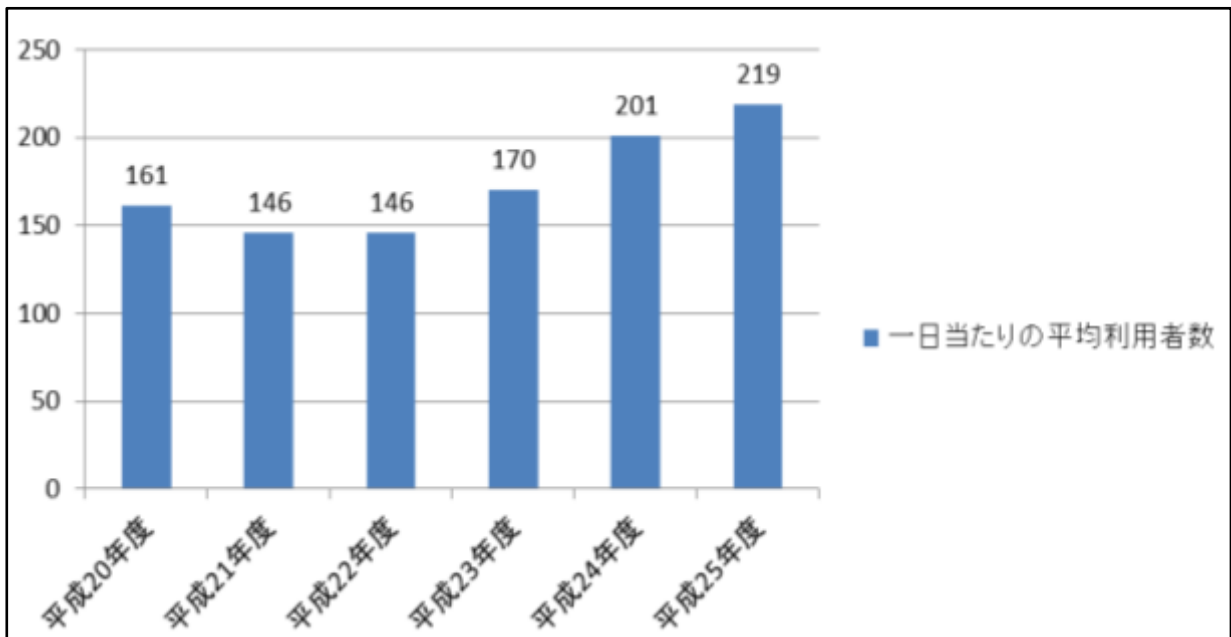
整備範囲	延長	整備率
岡田西交差点 西側から役場 や図書館	304.92m	28%
岡田西交差点 から公園	466.84m	43%
駅から 岡田西交差点	309.64m	29%
合計	1081.4m	100%



(5) その他の数値指標1：コミュニティバス寒川駅バス停利用者数(1日平均)

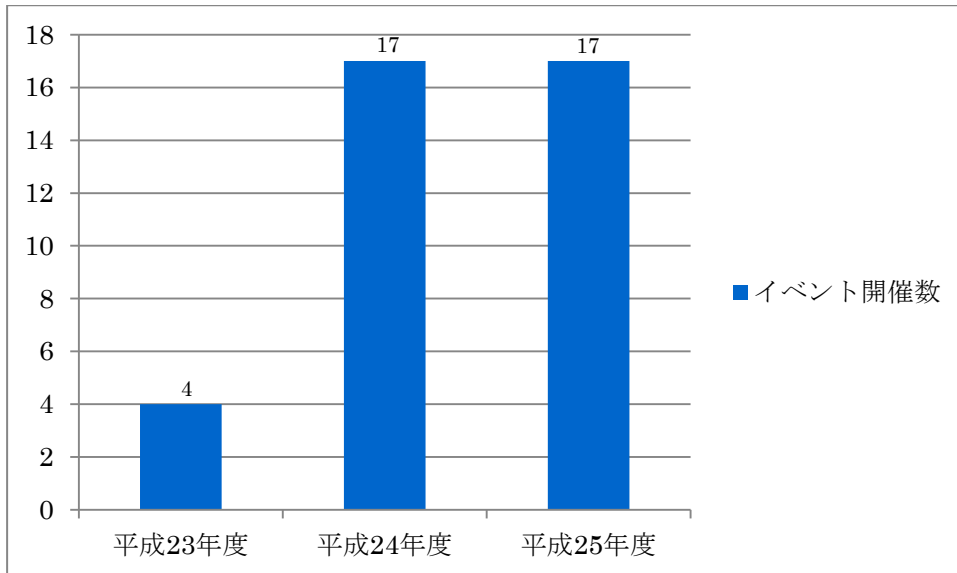
コミュニティバスの寒川駅バス停での1日当たりの平均乗降客数を算出しました。

【コミュニティバスの利用状況】



(6) その他の数値指標2：寒川駅前公園でのイベント開催数
公園内行為許可申請に基づくイベントの開催数を計測しました。

【寒川駅前公園イベント実施状況】



■寒川駅前公園イベント実施状況

年度	開催数	開催月	イベント内容
23 年度	4回	6	すいせんカードマーケット
			新条例啓発キャンペーン
		12	イルミネーションフェスタ
		3	イベント開催(パザー、放射線量測定、合唱・楽器演奏等)
24 年度	17回	4	寒川「朝市」
			寒川「朝市」
		5	湘南「食」みらいフェスタ2012
			街頭キャンペーン
		6	寒川「朝市」
		7	寒川「朝市」
			街頭キャンペーン
		8	寒川「朝市」
		9	寒川「朝市」
		10	寒川「朝市」
		11	寒川「朝市」
			ジェイコムタなび生放送
			寒川みんなの花火まつり
		12	寒川「朝市」
		2	JCOM 村野武範の馳走百景撮影
		3	第2回「3. 11さよなら原発ウォーク in さむかわ
		3	寒川町のPR(棒コロ販売・花苗配布)
25 年度	17回 (予定含)	4	寒川「朝市」
		5	寒川「朝市」
		6	寒川「朝市」
			さよなら原発ウォーク
			寒川エリアオープンイベント
			条例啓発キャンペーン
		7	寒川「朝市」
			街頭キャンペーン
			神輿まつり
			ウォーキング参加者受付・集合、出発式
		8	寒川「朝市」
		9	寒川「朝市」(予定)
		10	寒川「朝市」(予定)
			寒川「朝市」(予定)
11	寒川みんなの花火まつり(予定)		
12	寒川「朝市」(予定)		
3	寒川町のPR(予定)		

③実施過程の評価

○ モニタリングの実施状況

- ・ 事業期間中のモニタリングは実施しませんでした。

○ 住民参加プロセスの実施状況

- ・ 寒川駅北口地区まちづくり協議会を中心に街区公園、歩道等の整備内容を検討した。

【実施頻度】 歩道、歩行者専用道の検討：平成 20 年 10 月 2 日、11 月 7 日

街区公園の検討：平成 21 年 4 月 16 日、平成 21 年 7 月 16 日

【実施結果】 歩道及び歩行者専用道路の舗装デザイン、街区公園の整備内容について協議会とともに検討を行った。



今後は、地域住民を中心としたイベント等を支援する。

○ 持続的まちづくり体制の構築状況

- ・ 寒川駅北口地区まちづくり協議会に対し、事務局として人的支援、体制のサポートを行った。

【取組内容】 寒川駅北口地区まちづくり協議会の開催に係る事務支援



今後は、寒川町北口地区まちづくり協議会で作成したルールに基づき、まちづくりを進める。

- ・ 寒川駅北口地区の商店会や駅前公園で年間をとおして様々な事業やイベントを展開する検討を行った。

【取組内容】 商業活性化を促進し、振興を図るための体制づくりを支援



今後は、寒川駅北口地区商業活性化委員会を中心に、にぎわいを創出するソフト事業を展開する。

④効果発現要因の整理

効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的会議	企画政策部企画政策課 環境経済部産業振興課 都市建設部道路課 都市計画課 拠点づくり部寒川駅周辺整備事務所	平成25年8月15日 平成25年8月21日	企画政策課

数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	指標4	その他の指標1	その他の指標2				
指標名		公園充足度	歩行者支援施設の整備率	コミュニティバス寒川駅バス停利用者数	寒川駅前公園でのイベント開催数				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見				
A 基幹事業	公園	1号街区公園	街区公園の整備によって計画区域の約9割が公園誘致圏となり、安全な遊び場やコミュニティの場の不足を改善し、地域住民の居住環境向上に寄与した。	○	計画区域内の基幹道路に歩道を整備することによって、公共施設への安全安心なアクセスが確保された。	○	土地区画整理事業やバスシェルター、ベンチ設置事業等により公共交通の利便性が向上し、公共施設や寒川駅周辺商業施設へのアクセスの向上に寄与した。	◎	土地区画整理事業により整備した寒川駅前公園において各種イベントを実施することにより、商業の活性化とまちのにぎわいの向上に寄与した。
		2号街区公園		○				○	
		3号街区公園		○				○	
	高質空間形成施設	商店街街路灯 エレベーター、エスカレーター		— —				— ○	
土地区画整理事業	寒川駅北口地区土地区画整理事業	◎	◎	◎	○				
B 関連社会資本整備事業	道路	寺尾橋架け替え事業	—	—	○				
C 効果促進事業	施設整備	バスシェルター、ベンチ設置事業	—	○	○				
関連事業	公共下水道事業		—	—	—				
	土地区画整理事業(基本事業費・都市再生補助)		○	○	○				
	土地区画整理事業(町単独費)		○	○	○				
	駅前複合施設建設事業		—	—	—				

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後、街区公園の維持管理を図るとともに、イベントの開催などにぎわい創出の場としても活用していく。	引き続き、計画区域内の歩行者支援施設の維持管理を行うことで安全安心なまちづくりを推進する。	コミバス利用促進のPRを強化するほか、住民の意見を聞きながら、運行経路やダイヤの改善等を検討していく。	今後も寒川駅前公園を活かしたイベントを開催することで、駅周辺商業施設やまちのにぎわい創出への波及を図っていく。
-------	--	---	---	---

数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標3									
指標名		区画整理区域内新築件数			区画整理区域内商業床面積									
種別	事業名・箇所名		目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
A 基幹事業	公園	1号街区公園	△	社会経済情勢の変化や部分的な街区整備の停滞等によって目標は達成できなかったものの、土地区画整理事業の進捗、都市基盤の整備によって建築物等の新築が目標値の約94%を達成している状況を鑑みると、魅力ある基盤整備は着実に整いつつある。	III	—	土地区画整理事業の進捗、都市基盤の整備によって商業床面積は増進したが、社会経済情勢の変化や部分的な街区整備の停滞等によって目標は達成できなかった。	III	—			—		
		2号街区公園	△			—			—					
		3号街区公園	△			—			—					
	高質空間形成施設	商店街街路灯	—			—								
		エレベーター、エスカレーター	△			—								
土地区画整理事業	寒川駅北口地区土地区画整理事業	△	△											
B 関連社会資本整備事業	道路	寺尾橋架け替え事業	△		△									
C 効果促進事業	施設整備	バスシェルター、ベンチ設置事業	△		△									
関連事業	公共下水道事業		△		△									
	土地区画整理事業(基本事業費・都市再生補助)		△		△									
	土地区画整理事業(町単独費)		△		△									
	駅前複合施設建設事業		—		—									

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	土地区画整理事業を早期に完成させそれに伴う街区整備が整うことで建築物等の新築を促進するとともに駅周辺地区の魅力づくりを行う。	土地区画整理事業を早期に完成させそれに伴う街区整備を完了するとともに、商業施設の立地促進に向けた支援や広報等を実施する。		
------------------	--	--	--	--

まちの課題の変化

- 土地区画整理事業を契機に地区計画により住宅や商業施設の計画的土地利用への誘導を図るとともに、街区公園や街路灯、エレベーター・エスカレーター、バスシェルター・ベンチの整備により、都市基盤の整備や寒川駅利用者の利便性の向上が図られ、中心市街地の形成に必要な都市空間が創出されました。
- コミュニティバスの駅前広場への乗り入れにより、駅周辺地区への交通利便性が向上しました。
- 寺尾橋の架け替えにより、道路幅員が拡幅され車両のすれ違いが可能となり交通渋滞が解消されたことで、快適な交通環境が形成され、近隣市からの人の流れを当該地区に呼び込むことができました。

今後のまちづくりの方策

魅力ある寒川駅周辺地区（中心市街地）とするため、土地区画整理事業を早期に完了させるとともに、住宅、商業的施設の立地促進が残された課題です。

- 寒川駅北口地区の商店会などが駅前公園を利用して年間をとおし、様々な事業やイベントが開催できるよう支援を行います。
- コミュニティバスの寒川駅への乗り入れが実現し交通の利便性が向上したことから、その充実を図るとともに、他の公共交通の充実についても取り組んでいきます。
- 土地利用の住商混在を解消し、計画的な土地利用を図ります。
- 商業施設出店地域としてさらに魅力を向上させ、商業的施設の立地促進を図ります。

安心・安全なまちづくりの継続が重要です。

- 町の玄関口及び健全な町の中心商業地づくりを推進することで活力の在る交流ができる地域として、当該地域において変化する治安情勢に対応し、安全な生活環境を確保する活動拠点を確実に確保していきます。
- 地元からも要望のある自転車等放置禁止区域を設定するとともに、新たな自転車駐輪場の整備の検討を進めます。

フォローアップ計画

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	区画整理区域内新築件数	件	102	H20	182	H25	確定 見込み ●	171	△	あり なし ●	→	平成26年6月頃	土地区画整理区域内における建築行為等の届け出総数を集計する。	事業によるまちづくりの持続性を確認するために計測する。
指標2	公園充足度	%	60	H20	87	H25	確定 ● 見込み	89	○	あり なし	→			
指標3	区画整理区域内商業床面積	m ²	9,600	H20	13,200	H25	確定 ● 見込み ●	12,576	△	あり なし ●	→	平成26年6月頃	地区計画区域(土地区画整理区域)内における建築行為の届け出受付簿から、商業系の床面積を抽出し算出。	事業によるまちづくりの持続性を確認するために計測する。
指標4	歩行支援施設の整備率	%	71	H20	100	H25	確定 ● 見込み	100	○	あり なし	→			
指標5							確定 ● 見込み			あり なし	→			
その他の数値指標1	コミュニティバス寒川駅バス停利用者数(1日平均)	人/日	161	H20			確定 ● 見込み ●	219			→	平成26年6月	コミュニティバスの寒川駅停留所での、平成25年度の1日当たりの平均乗降客数を算定する。	なし
その他の数値指標2	寒川駅前公園でのイベント開催数	回/年	4	H23			確定 ● 見込み ●	17			→	平成26年6月	寒川駅前公園の公園内行為許可申請に基づくイベントの年間開催数を計測。	なし
その他の数値指標3							確定 ● 見込み				→			